

タイトル 好塩菌、耐塩菌の分離と利用				
分野	キーワード	①好塩菌	②耐塩菌	
アグリ・バイオ				
研究者氏名: 高品 知典 (所属: 生命科学部応用生物科学科)		[お問い合わせ先] TEL: 0276-82-9201 メールアドレス: takasina@ toyo. jp		

【概要】

高塩濃度条件下で生育可能な好塩菌、耐塩菌、あるいはそれらの微生物が生産する酵素等を利用した廃棄物処理や廃水処理の可能性を提案する。

【研究内容】

応用極限微生物学研究室は、1997年の板倉キャンパスの開学と同時に生命科学部第1研究室として発足しました。

主な研究テーマは、

- (1) 極限微生物、特に好塩性微生物および耐塩性微生物の探索と利用
- (2) 微生物が生産する有用成分の探索・利用と作用機作の解析
- (3) 微生物の環境適応メカニズムの解明
- (4) 微生物の形態形成メカニズムの解明

の4つで、特に、極限環境の1つである高塩濃度環境で良好に成育する好塩性微生物および耐塩性微生物の探索と利用を目指し、研究活動を進めています。研究室は板倉キャンパス1号館3階の生命科学部第1研究室、実験室は2号館2階の生命科学部第4実験室で、第4実験室は微生物学実験関連機器を備え、P1遺伝子組換え実験施設となっています。

本研究は、

- 1) 国内外の高塩濃度環境のサンプルからの好塩菌および耐塩菌の分離
 - 2) 高塩濃度条件下で醤油諸味粕を減量する菌の探索
 - 3) 高濃度のアンモニアを含む工場廃水からの窒素除去機能を持つ菌の探索
- を目的に進めており、好塩菌、耐塩菌の幅広い利用を提案します。

【実用化・活用が見込まれる分野・対象業種等】

製造業（生産・環境管理部門）

【関連特許】(特許名称・出願番号等)